



歴史は、現在、若しくは未来を生きる人々にとつて有用であるべきである。これまでも苦難の道を歩まざるを得なかつたとき、先人は絶望の淵から復活の道程を築いてきた。ただ、がむしやらにである。明日の復活のために過去の協調の歴史を学んでは。出水の歴史も捨てたものではない。

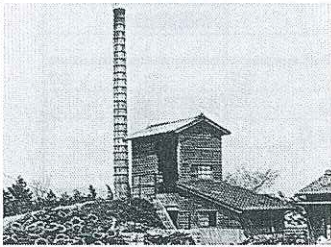
責任者 田島英樹

惨澹たる敗戦の焼け跡に立たされた人々は、皆空腹で何か食べられる物はないかとそればかり考えていました。復員した軍人軍属、海外からの引揚者、皆同じ立場に立たされ、皆同じ思いの人々ばかりでした。この人たちが、どうしても自分たちの手で「麦」を作り、「からいも」を生産しなければ家族を飢えから守ることはできないと、目をつけたのが旧海軍航空隊飛行場出水基地跡でありました。当時の飛行場は草茫茫々、見渡す限り広々としていて、焼けた格納庫の残骸、壊れた飛行機や部品が散乱して、本当に戦争に負けたのだという実感が秋風とともにしみみとしみみ入るような情景でした。

飢える人々は、何としても「からいもを植えたい」の一心で、飛行場跡に慣れない手つきで開墾の鋤を振るい始めたのでした。同時に、海軍の復員者を主流にした農耕隊の白水組合、桜町に住んでいた航空廠の軍属集団の敬農組合引揚者を中心に集まった出水組合、沖繩出身者でできた沖津組合など四組合が任意組合として成立しました。

それぞれ、組合長を立てていけると町当局や農業会、開発営団と交渉して荒地を仮配分して貰ったのでした。

〈中略〉「からいも」の「あがりづる」（からいもの苗のことで、当時は種芋から苗を自家栽培していた。苗は数回出てきたが、最後に出てきた残りものとして扱われた苗）を既存農家の人たちに分けて戴いて植えつけました。暑い夏の陽射しの中で明けても暮れても開墾と草取りに追われ、ようやくほこりかけた（生育が良くなりつつある状態）「いもづる」の下から小さな「いも」を探しあて、掘り起こし「おこし灰」（草を燃やして出来た灰）に投げ入れて焼いて食べたあのおいしさ、あの喜び、ああ、これで飢えずに済むと地に伏して感謝し、天を仰いで歓喜の声を上げたものでした。焼け残った兵舎の跡に住みついたり、こわれた残がいから柱や板などで雨露をしのぐ住居が、ボツボツと飛行場に建てられるようになり、新しい村づくりがはじまりました。そして、新しい集落の名前をなんと名づけようかと話し合うようになり、新しい出発の意味から「鹿島立ち」、即ち鹿島としたらということに衆議一決したように覚えていきます。



1970年頃飛行場跡にあった焼却炉

昭和二十三年（一九四八）政府の食糧増産対策としての緊急国内開拓法が制定されました。入植者として認められ、土地の本配分を受けられるようになり、開発農協法に依る鹿島開拓農業協同組合が設立されるようになり、当時、戸数は三十余戸でした。苦しい中にも楽しい思い出もありました。鉄屑を拾って売り、それでお弁当を作ったお花見。特に集落総出で加勢して電灯の明かりが輝いたときの感激は生涯忘れることのできない喜びでした。〈後略〉

八月九日は甘藷畑で草取り作業の日であった。草取りの最中にと肩を上げると不知火海を隔てた天草島の彼方に、突然大きな雲の雲が出現、稲妻が走り、やや間があつてかすかに低い雷鳴みたいな音が聞こえた。黒にあかね色を混じえた雲の異様に大きくて不気味だったこと、今でも脳裏に焼きついて離れない。それが長崎に投下された原子爆弾であったことは後で知った。

同じころ、中学校（現在の出水高校）附近の大野原台地にまかれた大量のビラを拾い集めてみると、「無条件降伏の意義」という見出しであった。降伏すれば平和が訪れるという趣旨の文章に白鳩のイラストなどが刷られていた。先生は「これは敵の謀略だ。ト（ツ）ルーマン大統領は今にツレ（脇役）になってしまいうらう」と相手にしなかつた。

長崎原爆から終戦までの四、五日は割に平穏であった。しかし、鹿児島市をはじめ、鹿児島本線つたいに川内、阿久根を経て折口までやられ、今度は出水の番だと予想していた。〈中略〉十五日の昼過ぎ、遠藤力雄校長が生徒を山中に集め、無念の表情で陛下の玉音放送の要旨を話された。常に勝利を信じ込まされ、本土決戦も厭わぬ覚悟で、すでに某部隊に編入されることになっていた私達の心境は複雑であった。

戦争は終わったといつても国民の恐怖は去らない。「鬼畜米英」といつていただけに皆殺しにされるのではないかと不安がつきまとい、また、デマも流れた。上陸してくるといふ噂に住民の山への避難が始まった。山に近い私の家の木戸も荷車の行列が続いた。私もいささか不安になり、父の勤めていた農協まで走った。父は「逃げたって同じ、逃げないぞ」とのつれない返事。不安の一夜を寝つかれぬまま過ぎしたが何事もなかった。戦争が終わると、飛行場跡地の開墾に出かけた。大根や薯を作ったが、堆肥もろくにやらないので収穫は少なかった。アメリカの新鋭戦闘機カーチスやP51や双胴のロッキードなどが誇らしげに低空飛行し、進駐軍に異常がないかを確認するようであった。

やがて、姿を見せた進駐軍も意外におだやかで、数箇月後には私たちの出水中（旧制出水中のことで現出水高校）グラウンドで水俣の新日窒野球チームと親善試合をした。大男どもが空振りしたり、当たり損ないが多く、新日窒チームの試合巧者ぶりが目立った。それはともかく、戦後初めて野球を見学し、かすかに平和を噛みしめた。

（出水郷土誌下巻 現代編 戦後の混乱から復興へ）

June

6月

2020年

二十四節気 芒種(6月5日) 夏至(6月21日)

キーワード 衣替え・梅雨・スーパークールビズ・初夏・入梅

首夏・麦秋・田植え・ジューンブライド・父の日



月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
衣替え	横浜開港記念日	測量の日	虫歯予防デー	世界環境デー	補聴器の日	緑内障を考える日
気象記念日	長崎開港記念日	ムーミンの日	侵略による罪のない	環境の日	梅の日	むち打ち治療の日
写真の日	イタリアワインの日	雲仙普賢岳祈りの日	幼児犠牲者の国際デー	熱気球記念日	楽器の日	
人権擁護委員の日		紅緑忌			かえるの日	寸心忌
電波の日		(佐藤紅緑 1949)			おけいこの日	(西田豊多郎 1945)
8	9	10	11	12	13	14
世界海の日	ロックの日	時の記念日	学校図書館の日	児童労働反対	国際アルビニズム	世界献血デー
成層圏発見の日	ロックウールの日	路面電車の日	傘の日	世界デー	啓発デー	日記の日
学校の安全確保・安全管理の日	武郎忌		雨漏り点検の日	バザー記念日	FMの日	
	(有島武郎 1923)	薄桜忌	国立銀行設立の日	日記の日	はやぶさの日	
		(宇野千代 1996)				
15	16	17	18	19	20	21
世界高齢者虐待啓発デー	和菓子の日	おまわりさんの日	海外移住の日	朗読の日	世界難民の日	父の日
信用金庫の日	ケーブルテレビの日	砂漠化および干ばつと闘う国際デー		ベースボール記念日		ヨガの国際デー
暑中見舞いの日				桜桃忌		スナックの日
				(太宰治 1948)		冷蔵庫の日
22	23	24	25	26	27	28
ボウリングの日	沖縄慰霊の日	空飛ぶ円盤記念日	住宅デー	国際薬物乱用・不法取引防止デー	演説の日	貿易記念日
DHAの日	オリンピックデー	ドレミの日	船員デー	拷問の犠牲者を支援する国際デー	日照権の日	パフェの日
	独歩忌				メディア・リテラシーの日	
	(国木田独歩 1908)	林檎忌				芙美子忌
		(美空ひばり 1989)				(林芙美子 1951)
29	30	<p>社会的距離を取ろう</p>				
佃煮の日						
星の王子様の日						
ビートルズ記念日	光晴忌					
	(金子光晴 1975)					

運動・週間

- リウマチ月間(6月1日~30日)
- 食育月間(6月1日~30日)
- 夏の省エネキャンペーン(6月1日~9月30日)
- 歯と口の健康週間(6月4日~10日)



主な文学賞 (19年度実績)

- 読売・吉野作造賞
- 渋沢・クローデル賞

6月のできごと

- 電波三法施行(1950年6月1日)
- 小惑星探査機「はやぶさ」が帰還(2010年6月13日)
- 柳田國男の『遠野物語』が刊行(1910年6月14日)
- 初の暑中見舞用郵便葉書が発売(1950年6月15日)
- 女優原節子生誕100周年(2020年6月17日)
- 朝鮮戦争勃発から70年(2020年6月25日)

作家の命日・6月

- 5日 西脇順三郎 1982
- 6日 森茉莉 1987
- 6日 氷室冴子 2008
- 6日 田辺聖子 2019
- 10日 倉橋由美子 2005
- 23日 壺井栄 1967
- 25日 長新太 2005
- 30日 柴田錬三郎 1978

6/1現在、出水市立図書館は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、お座席を半減して開館しています。又、読み聞かせ会等の行事も見合わせています。ご理解とご協力をお願いします。

中央図書館 電話0996-63-2105
 高尾野図書館 電話0996-82-5452
 野田図書館 電話0996-84-3100

今月の休館日は**15日(定期)**
 " **19日(定期)**
 " **1日~30日(空調設備改修工事のため)**

今月の休館日は?

メールアドレス izumilibrary@iaa.itkeeper.ne.jp <https://www.izumi-library.com>